



令和8年7月10日（金）

令和8年度 夏休みの作品募集について

さいたま市立大牧小学校

児童のみなさんへ

長い休みの間、自分の好きなこと、得意なこと、チャレンジしたいことなどについて計画を立てて取り組んでみましょう。いろいろなコンクールなどに応募してみましょう。

保護者の皆様へ

応募作品の要項と応募票を大牧小ホームページに掲載しています。お手数ですが、ホームページから応募票を印刷して御活用ください。（7月14日（火）掲載）

また、印刷した応募票を7月14日（火）～17日（金）の間、職員室前の廊下に置きます。（必要に応じてお子さんが持ち帰ることもできます。）この要項以外の作品を取り組む場合は、御家庭で応募してください。

作品に取り組む際には、その内容について家庭で話し合ってお互いのイメージを膨らませると取り組みやすくなると思います。子どもたちの頑張りを応援していただけますよう御協力よろしくお願いします。

No.	コンクール等名称	趣旨・課題(テーマ)	用紙の大きさや注意点等
1	さいたま市科学展、理科研究発表会	理科の自由研究	取り組み方については、一覧表下部P4、P5を参照してください。（作品票や応募用紙はありません。）
2	発明創意くふう展	家庭科の自由研究、アイディア作品	「発明創意くふう展」作品の募集という文書（3ページ目）を参照してください。（作品票や応募用紙はありません。）
3	第72回青少年読書感想文全国コンクール 「読んで世界を広げる、書いて世界をつくる。」 【公式HP】 https://www.dokusyokansoubun.jp	読書の楽しさ、すばらしさを体験させ、読書の習慣化を図る。 より深く読書し、読書の感動を文章に表現することを通して、豊かな人間性や考える力を育む。更に、自分の考えを正しい日本語で表現する力を養う。	【対象】 ①課題図書または自由図書を読んで書いた作品。 ②原稿用紙に縦書きで自筆した作品。 【字数】 1・2年生 800字以内 3～6年生 1,200字以内 【その他】 応募票はありません。 応募作品は返却しません。
4	令和7年度「青少年の主張大会」 【大会HP】 https://www.city.saitama.lg.jp/003/002/006/p121672.html	テーマ ①社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案 ②家庭、学校生活、社会（地域活動）、友達との関わり ③テレビや新聞などで報道されている青少年の問題行動、大人や社会の様々な出来事に対する意見や感想、提言など	【対象】 ①4～6年生の児童 ②A4・400字詰め原稿用紙2～4枚（5分以内でスピーチ発表できる内容） ③必要事項を記入した 応募票 を付けてある作品。 【その他】 応募作品は返却しません。 応募票は全児童に配布します。
5	J A「ごはん・お米とわたし」作文コンクール 【応募票は公式HP内、第51回実施要領P8】 https://www.ja-saitama.jp/activity/rice_compe.php	毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ご飯食の思い出や考えたこと。	【対象】 ①1～3年 400字詰め原稿用紙2枚以内 ②4～6年 400字詰め原稿用紙3枚以内 ③必要事項を記入した 応募票 を、最後のページ裏面中央につけてある作品。 ④開いた状態で右上をホチキス留めしてある作品。 【その他】 ・応募作品は返却しません。 ・1枚目の1行目に題名、2行目に学校名・学年・氏名、3行目から本文を書き出してください。
6	「小さな親切」作文コンクール	親切を受けた喜び、できなかった悔しさなどを思い出し、改めて親切の大切さについて考えてみましょう。	【対象】 ①1～6年生の児童 ②400字詰め原稿用紙3枚以内 【その他】 ・1枚目の1行目に題名、2行目に学校名・学年、3行目に氏名（フリガナ）を必ず記入してください。 応募作品は返却しません。
7	J A「ごはん・お米とわたし」図画コンクール	毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ご飯食の思い出や考えたこと。 （例）わが家のおにぎり、未来のおにぎり、楽しかった農業体験等	【紙の大きさ】 B3版相当（36.4cm×51.5cm）または四つ切画用紙 【その他】 ①必要事項を記入した 応募票 を裏面中央にのり付けして提出してください。 ②全学年対象。応募作品は返却しません。 ③作品に言葉は入れないでください。また、 おむすびに顔、手足が出ているものは応募できません。

8	MOA美術館さいたま児童作品展	絵画を募集。テーマは自由です。	【紙の大きさ】 四つ切画用紙 【その他】 ①必要事項を記入した応募票を作品の裏面右上につけて提出してください。（感想文の記入を忘れずに！） ②全学年対象。
9	緑区かかしランド絵画	かかしの絵画の制作を通じて緑区出身の武笠三や唱歌「案山子」についての知識を深める。	【紙の大きさ】 八つ切画用紙 【その他】 ①必要事項を記入した応募票を作品の裏につけて提出してください。 ②全学年対象。 作品は、プラザイーストに展示されます。
10	児童絵画作品コンクール（主催：埼玉県トラック協会）	【テーマ】 ぼく・わたしが思う安全で安心な環境にやさしいトラック ～こんなトラックあったらいいな～	【紙の大きさ】 四つ切画用紙・横書き 【その他】 ①必要事項を記入した応募用紙を作品の裏面右下につけて提出してください。 ②全学年対象。応募作品は返却しません。 ③応募者全員に参加賞。 ④応募された作品はトラック協会が無償使用したり、学校・学年・氏名等を表示することを同意されたものとみなされます。
11	食育推進に関するポスター	学校給食の意義や役割等について理解と関心を高めるとともに、望ましい食生活の在り方について考える機会とする。さらに、学校・家庭・地域の連携により、がっこうにおける食育の推進を図ることを目的とする。	【紙の大きさ】 B 3 版相当（36.4cm×51.5cm）または四つ切画用紙 【その他】 ①ポスターに入る標語は、以下のキーワードを基に食育推進に寄与する表現を考えてください。 さ 「三食しっかり」食べる。 い 「いっしょに楽しく」食べる。 た 「確かな目をもって」食べる。 ま 「まごころに感謝して」食べる。 し 「食文化や地の物を伝え合い」食べる。 ②全学年対象。 ③原則縦長。彩色、画材は自由。なお、画用紙に紙や布等を重ね合わせた厚みのあるものやコンピュータ・グラフィックスは不可とする。 ④自作であり、かつ他のコンクールや公募展などに出品していないものに限る。 ⑤作品裏面左下に学校名、学年、氏名を明記し、応募票に必要事項を記入し、作品の中央下に貼る。
12	令和8年度 さいたま市明るい選挙啓発ポスターコンクール	選挙の大切さや投票の参加を呼びかけ、明るい選挙を実現するために役立つ印象深いイメージのポスターなど、選挙に関することを自由に表現してください。	【紙の大きさ】 四つ切または八つ切り画用紙 【その他】 ①作品は1人、1点、未発表のものに限ります。 ②応募票に必要事項を記入し、作品裏の右下に貼る ③対象：全学年 ④描画材料は自由（紙や布など、絵の具材料だけに限りません。） ⑤応募者全員に参加賞。応募作品は返却しません。 ⑥学校名・学年・氏名を公表し各種啓発事業で使用することがあります。（※使用の際は、改めて公表の可否を確認します。）
13	令和8年度 防火ポスターコンクール	「火災予防」に関する作品を募集します。ポスター内の標語は、記載の有無（イラストのみ可）を含めて自由表記としますが、「山火事」及び「花火」の言葉は使用しないでください。 なお、標語の記載がない作品が選定された場合は、適当と思われる標語を記載してポスター化する場合があります。	【紙の大きさ】 八つ切画用紙（タテ380mm×ヨコ270mm） 【その他】 ①タテ描き ②クレヨン、パス類、水彩、油彩、貼り絵可。 （厚さ3mm以内の画材による貼り絵は可能ですが、鋭利なものは不可とします。） ③必要事項を記入した作品カードを下辺中央につけて提出してください。 ④全学年対象。応募作品は返却しません。規格外作品については審査対象外となるので気を付けてください。
14	第70回 J A 共済書道コンクール	条幅の部、半紙の部があります。課題は大牧小HPの募集要項を参照してください。	【紙の大きさ】 条幅 タテ約136cm×ヨコ約35cm 半紙 タテ約33cm×ヨコ約24cm 【その他】 ①必要事項を記入した応募票を作品の左下に貼って提出してください。 ②全学年対象。応募作品は返却しません。 ③学年、氏名の書き方注意（募集要項参照）

15	第14回さいたま子ども短歌賞 【さいたま市HP内】 https://www.city.saitama.lg.jp/003/003/001/p047904.html	豊かな感受性と国語力をはぐくみ、伝統的な言語文化の継承を図る。	【短歌とは…】 日々の生活の中で思ったこと、心を動かされる景色や出来事などを、31音で表す我が国の伝統的な国語文化です。 【その他】 ①配布された所定の用紙（左記URLからも印刷可能）、に記入して提出してください。 ②所定の用紙は全児童に配布します。 ③応募作品は返却しません。
----	--	--	--

上記作品の提出日は、8月28日(金)です。遅れた場合は校内審査対象外となる場合があります。



自由研究について（中学年用）

日常生活の中で「どうしてこうなるのだろう。」と疑問に思っていること、「もっと調べてみたい。」と興味をもっていることなどをテーマにし、自分で調べてまとめてみましょう。

※長い夏休みに自由研究を通して学ぶ楽しさを味わってください！

※現地に行ったり実験をしたりするときは、必ずおうちのひとと相談をしてからにしましょう。

（例）

落ち葉と人の出すごみの違いについて
4年2組 大牧 たび男

【調べようと思った理由】
公園を歩いていて、木の下にいろいろなごみを見つけた。
落ち葉は生き物が食べてなくなるけど、人が出した・・・

【予想】
人が出すごみは、自然のものではないから、落ち葉のように
土の中の・・・
また、写真①のように・・・

【方法】
落ち葉と人の出すごみを・・・

用紙は、ノート、スケッチブック、画用紙、パワーポイントなど。

いろいろなところに写真を入
れるとわかりやすいです。
使わないかも・・・と思っても、
できるだけたくさん写真を撮っ
ておきましょう。

写真① ○○ホームページより

写真などの資料を入れるとき
は、もしそれがインターネットや
本に載っているものであれば、
引用元を入れましょう。

見出しの字は太くしたり、大き
くしたりしてレイアウトを工夫し
てみましょう。

写真1枚1枚に番号や名前を付けてお
くと、文章でどの写真を説明しているの
かがわかりやすいです。

研究の流れは、理科の教科書に載っているので、参考にしてみましょう。

3年生 P.58～P.59

4年生 P.76～P.77

自由研究について（高学年用）

日常生活の中で「どうしてこうなるのだろう。」と疑問に思っていること、「もっと調べてみたい。」と興味をもっていることなどをテーマに課題を見つけ、自分で調べてまとめてみましょう。

※長い夏休みは自由研究を通して学ぶ楽しさを味わってください！！

※現地にいったり実験をしたりするときは、必ずおうちのひとと相談してからにしましょう。

1 形式

ノート スケッチブック 紙（ホチキス止め） パワーポイント Canva ワード など

2 テーマの種類（やりやすいものを選びましょう。）

① 仮説検証型（予想・見通しを立てて、それを確かめる研究）

- ・まず観察する
- ・結果の予想（仮説）を立てる
- ・実験の計画を立てる
- ・実験（調査）・・・仮説を確かめる実験
- ・仮説は正しいか考察する

※仮説が正しくなかったという結論が出て、「仮説が正しくなかった」という事実を確かめたわけでは、「実験失敗」ではない。「〇〇ではなかった」と、堂々と発表しよう。

② 野外調査型

正確・丁寧な調査で自分の住んでいる地域の身近な動植物や環境を調べる。この場合も、予想（仮説）をつくっておく方ではなく、実験方法をよく考えて意味のあるデータにすること、なるべく多くのデータをとることが大切。

（例）〇〇川にはどんな昆虫が生息しているのか この地域での天気による温度の変化

③ 事実確認型

自分なりの工夫を入れて、理科の教科書に載っていることなどを自分で確かめてみる。この場合、教科書と同じやり方ではなく、実験方法を工夫したり、より細かい観察をしたり、他との比較をしたりしてみよう。

④ 作品制作型

つくる過程の試行錯誤を大切に！何かを作るという目的で自由研究をするが、その過程で気づいたことや失敗の理由を考えることで単なる工作ではなく、理科の自由研究らしくなる。またその制作物を使って実験・観察をしてみる。

注意！！

実験や調査が不可能なものは、ただの調べ学習になってしまう。（自由研究ではない！）

（例）惑星の種類 恐竜についてまとめる

3 まとめ方（以下の流れでまとめよう！）

1. 研究の動機	このテーマを選んだ（説得力のある）理由を書く。 なぜこの研究に取り組みようと思ったか。日常で感じていた事と、学校の授業で感じた事などから、 研究の背景と動機 をあげられるとよい。
2. 研究の目的	この研究では何を明らかにしようとしているのか、 仮説・予想 をあげて書く。この研究の重要性や必要性が伝わるように。
3. 研究の方法	実験方法を順序よく簡潔書きで説明する。誰かが同じ事やってみようとしたら、できるように詳しく書く。 その方法を選んだ理由や結果の信頼性を高めるための工夫も付け加える。 実験操作や調査のようすがわかるように図や写真で示すのもよい。本やインターネットから取ってきたデータではなく、自分の体を使ったデータだということをアピールする。
4. 研究の結果	実験観察で得られたデータを、表やグラフでわかりやすくまとめる。集めた標本なども見やすい形で示す。 グラフなどは3色ぐらいの色を使って書くとい。特に明らかな結果があれば表やグラフに印をつけて、文章も添えて説明する。
5. 結果の考察	実験結果はどのような意味をもっているのか、わかったことを考え、整理して説明する。自分の 仮説 となぜ違った（予想どおりだった）かを書く。 その理由を考える。自分の考えだけでなく本やインターネットでも調べて書くとい。
6. 反省と感想	今回の自由研究の取り組みを振り返って、気づいたことなどをまとめる。できれば今後の課題も簡単に示すとよい。
参考文献	参考にした本の題名と出版社名を書く。インターネットを使って調べたならサイト名を書く。

研究の流れは、理科の教科書に載っているので、参考にしてみましょう。

5年生 P.50～P.51

6年生 P.76～P.77